

市民研

NPO 法人

市民科学研究室

活動案内 2023年6月発行

この冊子は半年に1回更新されます

下線を引いた資料はウェブサイトへリンクされています

▶ **市民科学研究室**は「生活者にとってよりよい科学技術とは何か」を考え、そのアイデアの実現を目指しています。次の3つのことがらを軸にして、市民の問題認識力を高めるための講座や勉強会を運営し、市民が主体となった調査研究や政策提言や支援事業を進めています。

1. 科学技術にかかわる様々な意思決定や政策形成への市民参加
2. 様々な社会問題の解決に向けた専門知識の適正な活用
3. 持続可能で生き生きとした生活のための科学研究や教育の実践

▶ **市民科学**とは「市民の、市民による、市民のための科学」です。複雑で高度な専門知に立ち入らねばならない場合であっても、市民がそれを回避せず、しかも専門の細分化に足をすくわれることなく、生活の総合性をみすえて問題解決にあたるのが鍵になります。

定例の活動

- ① 各種研究会
- ② 市民科学講座
- ③ 土曜ランチ

講師派遣

- ⑧ 子ども料理科学教室
- ⑨ 講演・出張授業

プロジェクト

- ④ 調査事業(助成)
- ⑤ 市民測定活動
- ⑥ 市民科学者育成塾
- ⑦ VIPROS(生命科学での映像製作の支援)

学びのツール提供

- ⑩ 生活習慣病対策ゲーム「ネゴバト」
- ⑪ かるた「熱と暮らし」
- ⑫ カードクイズ「食と健康」

資料提供

- ⑬ 隔月刊『市民研通信』
- ⑭ くらしとかがくのアーカイブ(動画)
- ⑮ 市民研チャンネル (YouTube)
- ⑯ 科学と社会を調べる 図書館(蔵書)
- ⑰ 市民研サーチライト

① 研究会

▶研究会には誰でも随時参加できます。ただし継続して参加するには、市民研の会員となる必要があります。

時々「公開研究会」を開きます。その場合はウェブサイトで開催を告知します。

低線量被曝研究会 ●シンポジウム「福島原発事故の経験から放射線防護のあり方を改める」第2回、第3回、第4回(4/28,6/28,11/21)を実施 ●『放射線副読本「放射線被ばくの早見図」をしっかりと読んでみよう』を公開

アーカイブ研究会 ●公開研究会「音楽のアーカイブズ 導入編~音楽の関心に「適う」資料のはなし~」(講師:那須聡子さん、9/24)などを実施

食の総合科学研究会 ●NPO 法人ポラン広場と共同で「めざせ、子どもシェフ!—食と農のとびっきり体験」(5/6-3/19)を実施[キューピーみらいたまご財団の助成により] ●江東区のイベント「子どもお料理団」に出張授業(テーマは「保存」、11/19)

環境電磁界研究会 ●携帯基地局電磁波の実測データを用いた「神奈川ネットワーク運動・鎌倉」の学習会講師(11/14) ●電磁波問題市民研究会と共催で「電磁波問題よろず相談会」を実施(6/13)

② 市民科学講座

▶次の6種類のオンライン講座を定期的に行っています。★の付いた2つの連続講座を除いて、市民研会員はどれにも無料で参加できます。それぞれの講座の趣旨、これまでに扱ってきたテーマ、講師、これからの予定の確認、参加申込みなどはすべて市民研ウェブサイトから受け付けています。ご参加をお待ちしています。

市民科学入門講座 毎月第2月曜日 19時より

▶あなたが呼んで話を聞きたい講師、皆で論じたいテーマなど、ご提案を企画に反映させることができます。

TV科学番組を語り合う 毎月第2、第4水曜日 19時より

▶TVの科学ドキュメンタリー番組を取り上げ、論じます。ウェブサイトには関連する番組の放送予定を掲げています。

科学時事・科学論文を読む 毎月最終月曜日 19時より

▶参加者は、興味深いウェブ上の記事論文を1日1本で取り上げている「市民研サーチライト」から、好きなものを選んでコメントし、皆で議論します。

著者に尋ねる 随時開催

▶科学と社会に関連する本を最近上梓したその著者を招き、一緒に議論します。

★連続講座「サイエンスライターP.B.の作品世界を逍遥する」 奇数月第2木曜日 19時より【有料】

★連続講座「科学を変える、誰がどこからどうやって」 偶数月第4木曜日 19時より【有料】

③ 土曜ランチ

市民研の事務所は東京都文京区湯島の大変交通アクセスのよい場所にあり、土曜日は事務所を一般に開放し、どなたが訪れてもよいことにしています。所蔵資料・映像を自由に閲覧できますし、様々な科学技術関連の問題での相談も受け付けています。午前11時からは「土曜ランチ」と題して、市民研の会員の皆さんやそのご友人から話題提供をしていただき、1時間半ほど楽しいおしゃべりをしています(オンライン参加可)。市民研にカンパとして送り届けられた古書を廉価で購入できる「市民研ブックバザール」も開催しています。どうぞお好きな時にお立ち寄りください。

この1年(2022年6月~)のプロジェクトから

④ (助成金を用いた)調査事業

▶2022年度は次の2つの事業を、助成を受けてすすめました。

[子どもシェフ企画] 公益財団法人 キューピーみらいたまご財団 2022年度助成のうちの「プログラム A(食育活動)」による「都市農業と「子どもシェフ」の体験による未来の食農の担い手づくり」

[外環トンネル工事問題] 高木仁三郎市民科学基金 2021年度助成により「外環道大深度工事で発生した振動・騒音・低周波音による被害の実態把握とそれへの対策に関する調査」

子どもシェフ企画

NPO 法人ポラン広場と共同で、「身につけよう! キッチンサイエンス」講座 10回、「訪ねてみよう! 都会の農家さん」体験 7回、「集まれ! 子どもシェフが腕をふるう」食事会 3回の合計 20回のイベントを実施。そのすべての回の写真入り報告は[ポラン広場東京のウェブサイト](#)で公開しています。また、農家さん訪問の動画は「[市民研チャンネル](#)」に収めて一般公開しています。キッチンサイエンス講座のために開発した今回の 10個のプログラムは、⑦(「子ども料理科学教室」)に新たに加わる強力な別バージョンとなります。

外環トンネル工事問題

2021年度に着手した調査を継続しています。市民研が被害者住民らと共同で「外環振動・低周波音調査会」を立ち上げ、地盤・地質・地下水、振動・騒音・低周波音など多岐にわたる問題を学習しつつ、調布市で発生した陥没事故に関連する振動・低周波健康被害、建物損壊の実態調査と振動モニタリングの市民計測網の確立を目指しています。奇数週の金曜日の午前にはオンラインで調査会(メンバー10数名)の定例会を開いていますが、その開催数がすでに50回を超えていることからわかるように、精力的に活動しています。詳しい報告(動画あり)は市民研ウェブサイトの次のページに掲載しています。

[「大深度地下トンネル工事の振動・低周波音被害」第I期調査の動画・報告文書を公開](#)

また、多数の人が参加した集会である、2022年10月16日の[高木基金「市民科学」公開フォーラム「リニア新幹線・外環道大深度地下トンネル問題を深掘りする」](#)での発表(公開資料あり)と2023年5月27日の[「外環道大深度地下トンネル工事による建物損傷―その全容を把握するための住民調査の報告」](#)での発表の、それぞれの報告がご覧いただけます。

⑤ 市民測定活動

「はかる、わかる、そなえる―あなたの街・家・教室の電磁波環境 測定と対策の協働プロジェクト」を展開しています。2020年以来、携帯基地局の計測などを各地の住民とともに実施し、すでに [5件の詳しい報告書](#)を公開しています。最新のものは、次ページの『市民研通信』にも掲載した、「[携帯基地局電磁波の実測データを用いた「神奈川ネットワーク運動・鎌倉」の学習会報告](#)」です。電磁波環境を正確に把握し、適正な対策につなげるために、まずは測定から―皆さんからのご連絡をお待ちしています。なお、④の外環問題でも、iPhoneを用いての市民による振動測定網を広げているところです。

⑥ 市民科学者育成塾

2023年度の活動の目玉になります。詳しくは[専用のパンフレット](#)をご覧ください。2023年6月から一般社団法人大竹財団の助成を受けることが決まり、また、ソーシャル・ビジネス・ネットワークと高木仁三郎市民科学基金のご協力を得ることもなります。問題解決に取り組んでいる様々な現場での体験を重ねつつ、『[実践 自分で調べる技術](#)』(岩波新書 2020)で示したノウハウをどう生かし、意義のある新たな調査の実践に向かうか―を目指します。市民研ウェブサイトに参加申込を受け付けています。

⑬ 隔月刊『市民研通信』 この1年の掲載記事・論文一覧 (著者の50音順)

▶以下は『市民研通信』第65号(2022年2月10日)から『市民研通信』第71号(2023年5月10日)に掲載された記事・論文の一覧です。これらのすべては、市民研ウェブサイトで全文を読むことができます(電子媒体のみの発行となります)。タイトルなどからすぐさま検索できます。皆さんからのご寄稿もお待ちしております。論文タイトルに添えた[]は号数です。

◆第71号 ◆第70号 ◆第69号 ◆第68号 ◆第67号 ◆第66号 ◆第65号

(株)アイカム+上田昌文(市民科学研究室・代表)

・科学映画シンポジウム「いのちの科学映像が切り拓くもの—アイカムの50年の足跡から考える」全記録 [70]

網代太郎(市民科学研究室・環境電磁界研究会、電磁波問題市民研究会)

・携帯電話などの電磁波と青少年の脳腫瘍の関連を調べた国際疫学研究の結果 [66]

上田昌文(市民科学研究室・代表)

・21世紀の公害とは何か —そのとらえ方の提案と「電磁波曝露」での事例分析 [69]

・携帯基地局に関する問い合わせへの対応について [67]

・<翻訳>『Atomic Doctors: Conscience and Complicity at the Dawn of the Nuclear Age』の紹介文 [67]

桑垣 豊(NPO 法人市民科学研究室・特任研究員)

【連載】21世紀にふさわしい経済学を求めて

・第14回[65]・第15回[66]・第16回[67]・第17回[68]・第18回[69]・第19回[70]・第20回[71]

倉本 宣(明治大学農学部)

生きもの屋でない市民が自然保護にかかわる可能性 [65]

権上かおる(市民科学研究室会員)

日本機械学会イブニングセミナーを23年間実施して [71]

市民研会員有志

私のおすすめ3作品 2022年 [70]

私のおすすめ3作品 2021年 [65]

杉野実(市民科学研究室・理事)

私の世界市民科学「再」探訪 ～“Living Knowledge”国際会議によせて～ [66]

瀬野豪志(市民科学研究室・理事&アーカイブ研究会・世話人)

【連載】美味しい理由—「味の素」の科学技術史

・第7回「調理」を作っていくのは誰か [70]

・第6回 新しい「味」の先に起きていく出来事 [68]

・第5回 「食事のシーン」を描くことができるか [67]

・第4回 わが美味を求めん [65]

・アーカイブ研究会 ～じぶんたちのために、つくる、しらべる～ [66]

・市民研の動画ノート ブックトーク「語っていいとも」 [69]

中田哲也 (ウェブサイト「フード・マイルージ資料室」主宰)

「食と農の市民談話会」を振り返って [68]

橋本正明 (市民科学研究室・会員)

根本的に社会構造を変えるなら(前編) ~最小限の投資で最大限の効果を~ [67]

林 浩二 (千葉県立中央博物館)

【連載】博物館と社会を考える

- ・第14回 改正博物館法が施行されました [71]
 - ・第13回 新しい博物館の定義が採択されました [68]
 - ・第12回 国際博物館会議(ICOM)の博物館定義の改定と 博物館法の一部改正 [66]
 - ・第11回 博物館の世界的組織の環境保全と教育への取り組み [65]
-

保坂令子 (鎌倉市議会議員) + 上田昌文 (市民科学研究室・代表)

携帯基地局電磁波の実測データを用いた「神奈川ネットワーク運動・鎌倉」の学習会報告 [69]

山口直樹 (北京日本人学術交流会責任者、市民科学研究室会員)

【連載】日中学術交流の現場から

北京からゴジラ同級生俳優、宝田明さんへの手紙

- ・第一便[65] ・第二便[68] ・第三便[69] ・第四便[70] ・最終便[71]
-

山根伸洋 (市民科学研究室会員)

【連載】開発主義政治再考 第9回~第5回

- ・第9回 まとまらない補論、ないし課題としての技術論 [70]
 - ・第8回 補論/『現代技術評論』の二年間(続き) [69]
 - ・第7回 補論/『現代技術評論』の二年間 [68]
 - ・第6回 補論/『技術の社会史』と『現代技術評論』をつなぐ [66]
 - ・第5回 補論/田園都市国家ないし国家の空間的实践をめぐって [65]
-

横山勝さん (元家庭裁判所調査官) 講義録

家庭裁判所における「科学」の問題 [66]

三河内彰子 (市民科学研究室・理事)

博物館活動への市民参画:植物標本デジタルアーカイブプロジェクトの推進力として

- ・前編 [66] ・後編 [68]
-



⑦ VIPROS (生命科学での映像製作の支援) プロジェクト

市民科学研究室と(株)アイカムが共催して2022年11月23日に実施しました、「科学映画シンポジウム いのちの科学映像が切り拓くもの—アイカムの50年の足跡から考える」を受けて、有志により立ち上げることになったプロジェクトです(VIPROS=Video Production Support in Life Sciences)。医学・薬学・生物学分野では様々なテーマで、研究者のみならず一般の人々にも、その研究の意義や生命現象の魅力や奥深さを伝える、公益性の高い科学映画作品がこれまでにいくつも作られてきましたが、近年、新たな作品を制作するのが非常に難しくなっています。過去の文化資産である諸作品を教育に活かすための適切なやり方も確立していません。こうした困難をどう乗り越えていくかを、研究者、映像制作会社、文化行政に詳しい人…などを交えて、本格的に探っていきます。「参加・賛同の呼びかけ」をウェブサイトに掲載していますので、ご覧ください。

講師派遣

⑧ 子ども料理科学教室

15年以上前から開発と改良を続けてきたプログラムに新しい版が加わりました。「自炊力を身につける10のプログラム」です。これは④の「子どもシェフ」企画のなかで完成したのですが、今後は大学初年級の学生さんなど、自炊を手掛けたいと思う方なら誰にでも提供できるようにするつもりです。講座を共同で運営していくことを、食育に関心のある人々に幅広く呼びかけたいと思います。

- ① ご飯が炊ければ、何とかなるぞ
- ② 「お味噌汁+野菜」で一日を始めよう
- ③ 旬の野菜でおかずを作る
- ④ 味を決める「だし」、調味料の「さしすせそ」
- ⑤ 麴(こうじ)の力 発酵の力
- ⑥ うまく保存、うまく作り置き
- ⑦ 蒸す、茹でる、炒める、ならまかせて!
- ⑧ ○○料理に挑戦! レシピの読み解きを学ぶ
- ⑨ マイレシピでおいしく作る
- ⑩ 味噌の手作りに挑戦

⑨ 講演・出張授業

電磁波&デジタル機器問題や外環道トンネル工事被害問題などのテーマで、この1年で20回の講演を関東各地で行いました(うちオンラインが5回)。種々のテーマでの講演をお引き受けできますので(扱ってきたテーマについては「講師派遣の実績」をご覧ください)、ご連絡をお待ちしています。また、⑦に関して毎年、江東区が主催する「子どもお料理団」の講座を引き受けています。自治体が主催する市民講座などにリクエストや提案をしていただくと、地元での実施が定例化できるかもしれません。

学びのツール提供

▶いずれもウェブサイトから購入できます。

⑩ 生活習慣病対策ゲーム「ネゴバト」

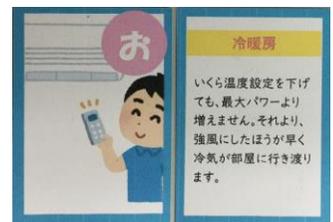
生活習慣のジレンマ(板挟み)を話し合うための対面交渉型ゲーム。健康教育教材として大学や高校、地域保健サービスの現場で活用され、好評です。

⑪ かるた「熱とくらし」

日常の生活のなかで出会う、熱をめぐる様々な問題を例示し、賢い熱の使い方を端的に示しました。学校や家庭や環境教育の様々な場で使えます。

⑫ カードクイズ「食と健康」

知っておいていただきたい「食と健康」に関する、科学的なデータに基づいた知識を、名刺大の美しい42枚のカードのクイズにしました。



資料提供

▶②「市民科学講座」や③「土曜ランチ」をはじめ、市民科学研究室では、講座、会合、イベントなどのほとんどを動画に撮って残しています。市民研会員が自著や推薦図書を語る「語っていいとも」というシリーズもあります。それらのうち主なものはすべて「くらしとかがくのアーカイブ」という独立したサイトに掲載し（現在までに約 300 タイトル）、レイチェル会員とダーウィン会員であれば、それらは見放題です。そのなかには YouTube に無料で一般公開しているものがあります（「市民研チャンネル」）。そこには、2023 年 6 月から開始している「市民研・週刊ニュース」もあり、講座やイベントのみならず、市民研の独自の切り口で時事的問題も扱っています。「科学と社会を調べる図書館」や「市民研サーチライト」と併せて、「科学と社会」の問題への考察を自分なりに深めていくのに役立てていただければと思います。

▶市民研は「資料提供」は一方的になされるものではなく、皆さんからのご寄稿、ご投稿、お問い合わせなどを受けて、やりとりをしながら行っていくものだと考えています。ぜひ「[市民科学目安箱](#)」のサイトから、いろいろなお意見や情報を寄せていただければと願っています。

⑭ くらしとかがくのアーカイブ（動画）

市民研が主催する様々な講座やイベントやインタビューなどの動画をほぼ全部を収めているサイトです。市民研のレイチェル会員もしくはファール会員であれば無料で見放題ですが、それ以外の方々には有料となります。連続講座「日本の市民科学者—その系譜を描く」（12 回）、「生活のなかの科学技術リスク」（13 回）、ブックトーク「語っていいとも」（現在までに 17 回）、「食と農の市民談話会」（9 回）、公開研究会……など、定例の講座以外の動画も満載です。

⑮ 市民研チャンネル（YouTube）

「くらしとかがくのアーカイブ」の動画のうち、一般公開できるものは YouTube に載せています。2023 年 6 月半ばの時点で、チャンネル登録者数は 4000 人を超えています。

⑯ 科学と社会を調べる図書館（蔵書）

市民科学研究室は「科学と社会」に関連する書籍や雑誌特集号や報告書やパンフレットなど約 5000 冊を 31 のジャンルに分類して所蔵しています。事務所内であれば、誰でもいつでも閲覧できます。またそれらは一般の図書館同様に PC から書名・著者名・出版社…などから検索ができるようにしています。また市民研の会員であれば、これらの書籍を 1 ヶ月間借り出すことができます。

⑰ 市民研サーチライト

市民科学研究室の日々の活動のなかで出会ったネット上の有用な情報（記事、論文、動画、書籍など、英語文献も含む）を 1 日・1 篇で紹介しています（2017 年 7 月～）。投稿も歓迎しています。また、これらは②のなかの「科学時事・科学論文を読む」で取り上げて議論する対象としています。



ご入会(会員登録)／ご寄付のご案内

▶市民科学研究室(市民研)の活動は会員となってくださる方々の会費やご寄付によって支えられています。市民研の活動にご賛同いただける方、支援をしていただける方には、ご入会やご寄付をお願いいたします。

会員登録

年会費を送金して次のいずれかの会員になることができます。

- ★**正会員(レイチェル会員)**……………年会費 10,000 円(議決権、動画見放題、講座参加費無料)
- ★**賛助会員Ⅰ(ファール会員)**……………年会費 5,000 円(動画見放題、講座参加費無料)
- ★**賛助会員Ⅱ(ダーウィン会員)**……………年会費 3,000 円(講座参加費無料)

会員になると、以下のサービスを受けることができます。

1. 「市民研メーリングリスト」への登録(登録と解除はご本人の意向で決めます)
2. 市民科学講座などイベントへの参加費は連続講座や食材費を要するものなどを除き無料
3. 市民研の各種研究会への参加
4. 市民研の講座などの動画がいつでもどれでも見放題(レイチェル会員とファール会員のみ)
5. 市民研が刊行した出版物の寄贈(レイチェル会員のみ)
6. 市民研主催の市民科学講座・各種イベント・研究会での配布資料の提供
7. 市民科学研究室所蔵の書籍・文献資料や映像資料の借り出し(期限 1 ヶ月)

送金の方法は、次の「ご寄付」に記したのと同じ方法でお願いします(市民研ウェブサイトの「入会と会費はこちらから」にも記しています)。

ご寄付

一口 1,000 円から受け付けております。ご送金の方法は以下のいずれかでお願い致します。

- ①**郵便振替用紙にて**……………口座加入者名:市民科学 振替口座番号:00160-4-608503
- ②**クレジットカード決済**……………市民研ウェブサイトの「ご寄付・ご支援」を開き、そこにあるオンライン決済 PayPal のカートより
- ③**お持ちの銀行口座から**……………「ゆうちょ銀行」支店名:〇一九 口座番号:608503 宛に



NPO 法人 市民科学研究室

〒113-0034
東京都文京区湯島 2-14-9 角田ビル 2F
Tel:03-5834-8328
Email: renraku@shiminkagaku.org
<https://www.shiminkagaku.org/>

